



泗水小だより



泗水小学校
学校だより No28
文責 芹川博文
11月24日(金)

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 泗水小」

歴史の重み 不変の想い

～ 来年度 (R6) 泗水小創立150周年 ～



百周年記念誌



前庭の記念像



記念の文鎮

1冊の本(写真左)があります。約50年前、創立百周年の時に作成された記念誌です。この中に泗水小100年の歩みが生き生きと記されています。一部を紹介させていただきます。

■「その当時小学校は四年制である。義務制ではないので学校へ上がらぬ者もいた。授業料、月八銭を払っていたのを覚えている。」
(明治32年卒業生)

■「私たちの一年生の時は、風呂敷に石板をくむ、背中から登校したものです。日露戦争の直後でしたので戦争ごっこが流行っていました。」
(明治39年卒業生)

■「忘れられないのが、3年生の時の担任、笠 秀雄 先生の応召である。先生は、個性豊かな人情味あふれた方であった。中支から南海へ派遣され、数年後にマレー半島周辺で戦死されたが、その間、折にふれて私たちへ便りを下さった。時にはユーモラスに、時には叙情詩的に、先生お得意の挿絵入りの手紙が届くと、5、6年の担任だった先生が、所々説明を加えながら読んで下さった。」
(昭和17年卒業生)
※笠 秀雄 先生については、菊池飛行場ミュージアムでも紹介されています。

明治7年(1874年)、村吉小学校創立から始まった泗水小学校の歴史。学校に行けるのが当たり前ではなかった時代、戦争に翻弄された時代、時代は大きく変わっても、泗水小という学び舎に子どもたちがいて、教育の営みが脈々と流れていたことが伝わってきます。

来年度創立150周年を迎える泗水小で、毎日を過ごす私たちです。風呂敷の中の石板は、ランドセルの中のタブレットに変わりました。しかし、大いに学び、そして遊ぶ子どもたちの笑顔と想いには不変のものを感じます。

子どもの世界(SNS問題)に向き合う

～ 地域の皆様もご参加ください！教育講演会 ～

今年、我が家に初めてゲーム機が「登場」しました。親として苦渋の決断でした。「ゲーム機が来てよかったと言えるようにしよう」と、約束を決めてスタートしました。しかし、その後の道は決して平坦とはいきません。今でも試行錯誤の毎日です。

今、子どもを取り巻くSNS等の世界がどうなっているのか。どんな危険性があるのか。大人として知っておく必要があることは様々な報道(命に関わる事件、多額の損害賠償、いじめ問題等)を見聞きする中で感じざるを得ません。

泗水小教育講演会のお知らせ

- 日時 12月15日(金) 授業参観日
15:35～16:35
- 場所 泗水小学校 体育館
- 演題 「SNS等に起因する被害やトラブルの実態」菊池警察署生活安全課より
- 主な内容 スマホの約束6か条
あ 会わないで！(知らない人と)
と 撮らないで！(自分の裸を)
が 画像を送らないで！
こ 個人情報を載せないで！
わ 悪口を書き込まないで！
い いじめないで！(ネットを使って)
- その他
保護者に限らず、地域の皆様のご参加を！
スリッパと靴入れの袋持参、防寒対策も！

今回、上記のとおり教育講演会を計画いたしました。これは泗水小ブロックの人権啓発会議と連携して行うものです。保護者に限らず一人でも多くの地域の皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

「歴史的節目の年」に向けて 創立150周年記念事業実行委員会 発足

数回の準備委員会を経て、9月に第1回記念事業実行委員会総会を開催しました。

以下、実行委員を紹介いたします。(敬称略)

- 【委員長】 佐々木輝男(元教育委員長)
- 【副委員長】 生田博隆(教育長職務代理者)
村田義喜(市教委教育部長)
- 【委員】 上田陽一郎(区長代表)、森本勝宏(歴代PTA代表)、丸山高弘(学校運営協議会代表)、加茂野伸一郎(地域コミュニティ代表)、右田美喜江(民生委員代表)、茶木谷与和(地域学校協働活動推進員)、林雅美(PTA会長)、清水美香(PTA副会長)、本校校長、教頭、主幹